

目標達成計画



事業所名 高齢者グループホームふきのとう

作成日: 令和元年12月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアについての事例の検討会が定期的に行われていないため、スタッフ会議の中で、3ヶ月に1回事例に基づく検討会を定期的に行うことを期待する。	身体拘束は行っていないが、「身体拘束に関する指針」に定めるとおり、スタッフ全員が身体拘束廃止委員会のメンバーであることから、スタッフ会議において定期的(3カ月に1回)に事例検討を含めた内部研修を行う。	①身体拘束禁止の対象となる具体的な行為の再確認。②①以外の行為でグレーゾーンといわれる行為の具体的な事例の検討。③スピーチロックといわれる内容の具体的な事例の検討。④虐待行為についての具体的な事例の検討。※これら4点を次年度の内部研修のテーマとし3カ月に1回行う。	3カ月
2	35	火災の避難訓練は、定期的に行っているが、地震など自然災害による停電などの対策として、発電機などの備品を早めに整備することを期待する。	当ホームはオール電化の施設であることから、次年度予算として、再度むかわ町へ発電機2台、コードリール2個、携行缶2個について要望し、災害発生時の停電対策を行う。	11月22日に夜間を想定した火災による避難訓練及び大規模停電発生時の対応訓練を消防署、地域(自治会)の方々の協力をいただき運営推進会議として行った。発電機は自治会長さんに協力要請をし実施。訓練を通し、発電機は接続する機器により区別すること、消費電力を考慮する必要性を感じた。LED照明等必要物品についても検討し整備することを考えたい。	1年以内
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。